

2014 年度 卒業研究 論文題目

◎ 基礎・健康開発看護学講座

➔ 看護アセスメント学分野

(指導教員 丸山良子)

- ・ 不安と血圧・自律神経活動の関連
- ・ 出生体重と生活習慣病の関連 -循環動態・自律神経活動・炎症反応に着目して-
- ・ 出生体重と循環動態・自律神経活動の関連について -母親の妊娠中の体重増加での比較-
- ・ 輸液療法の現状と問題点に関する文献検討 - 手術と細胞外液 -
- ・ 地上での無重力状態シミュレーション方法に関する文献検討
-6°head-down の検証と医療への応用-

(指導教員 菅野恵美)

- ・ 創傷治癒おける NKT 細胞の役割 -白血球集積への影響に注目して-

➔ 看護教育・管理学分野

(指導教員 朝倉京子)

- ・ 「特定行為に係る看護師の研修制度」施行の経緯及び制度が内包する問題点について
- ・ 臨床における男性看護師ならではのポジティブな経験
- ・ 看護師の離職意向に職務満足と精神健康が及ぼす影響
- ・ 看護師の専門職的自律性と職業コミットメントが 職務満足に及ぼす影響

➔ 老年・在宅看護学分野

(指導教員 齋藤美華)

- ・ 在宅高齢者介護における家族介護者の負担感に関する文献検討
- ・ 定年退職が及ぼす影響と高齢者に必要な援助に関する文献検討

(指導教員 坂川奈央)

- ・ 在宅における認知症高齢者の服薬管理の現状と対策に関する文献検討

➔ 地域ケアシステム看護学分野

(指導教員 末永カツ子)

- ・ 発達障害児支援に養護教諭が携わることの意義の検討
- ・ 発達障害者のためのキャリア教育のあり方

(指導教員 高橋香子)

- ・ 在宅難病療養者についての現状と課題に関する文献検討
- ・ 地域交流サロンが参加高齢者にもたらす影響
- ・ 地域保健分野におけるパートナーシップに関する文献研究

(指導教員 栗本鮎美)

- ・ 産業看護職に必要な卒前教育の検討

➔ 地域保健学分野

(指導教員 南優子)

- ・ 乳癌組織中ホルモン濃度と肥満度, 運動との関連
- ・ パーソナリティーと乳がんの予後との関連

➔ 公衆衛生看護学分野

(指導教員 大森純子)

- ・ 地域移行における「退院支援」の概念分析
- ・ 「地域・職域連携」：概念分析
- ・ 一次予防における「環境」の概念分析

(指導教員 田口敦子)

- ・ 慢性疾患患者の退院後療養生活追跡調査による退院支援の評価
- ・ 地域在住高齢者を対象とした食のバランス改善プログラムの評価
- ・ 行政を核とした在宅医療推進の評価指標の明確化
- ・ 在宅看取りケアの質担保に向けたチェックリストの開発

◎ 家族支援看護学講座

➔ 成人看護学分野

(指導教員 今谷晃)

- ・ Aldehyde dehydrogenase2(ALDH2)遺伝子多型と食道癌との関連に関する文献的解析
(指導教員 菊地史子)

- ・ 終末期を迎えた患者の身体的変化と精神的・霊的变化の関連
—緩和ケアにおける終末期リハビリテーション導入を通して—
- ・ 緩和ケア病棟看護師の患者ケアに対する満足度
-緩和ケア経験年数が患者・家族・看護師との関係性に与える影響-

➔ がん看護学分野

(指導教員 佐藤富美子)

- ・ 代替療法に依存したがん患者の闘病記をテキストマイニングする
- ・ 乳がん患者の心理的適応に影響する要因に関する文献検討
- ・ 放射線治療経過に伴うがん患者の心理に関する文献検討
- ・ がん患者の病名告知から終末期までの心理的苦痛に関する文献検討
- ・ 在宅において終末期がん患者を看取る家族に焦点を当てた文献検討

(指導教員 佐藤菜保子)

- ・ ラベンダー精油を用いたアロマセラピーがもたらす リラックス効果に関する文献検討
- ・ 乳がん患者自身の家族に対する思いに関する文献を元にしたテキストマイニング分析
- ・ 疼痛緩和としてのアロマセラピーの効果に関する文献的考察

➔ 緩和ケア看護学分野

(指導教員 宮下光令)

- ・ 遺族調査における回答者の人口統計学的特性は督促前後で異なるか？
- ・ 遺族によるケアの質の評価は死別後経過期間によって異なるか
- ・ 遺族調査による一般病院のがん患者の緩和ケアの質の評価
-一般病棟, 緩和ケア病床, 緩和ケアチームによる違い-
- ・ 遺族調査におけるケアの質の評価は督促前後の回答者で異なるか
- ・ 緩和ケア病棟の遺族調査における施設別回答率の違いに関連する要因
- ・ 遺族調査の回答拒否として返送があった対象の回答拒否の理由 及びその関連要因
- ・ 遺族調査の未返送者の特性

➔ 小児看護学分野

(指導教員 塩飽仁)

- ・ 大学生における親性準備性の発達と被養育体験との関連
- ・ 大学生の障害者とのかかわり方と障害のイメージの関連
- ・ 被災した子どもを支援するボランティアの子どもの変化の捉え方
- ・ 及び自己効力感, 内発的報酬の関連

(指導教員 鈴木祐子)

- ・ 父親の育児参加が母親の育児に対する自己効力感に及ぼす影響
- ・ 小児糖尿病サマーキャンプにおける学生スタッフの役割

➔ 精神看護学分野

(指導教員 齋藤秀光)

- ・ アルコール依存症患者の男女差 -女性患者に効果的な治療の検討-
- ・ 幼少期の家庭環境を背景に, 精神疾患・心身症を発症した患者の治療過程についての文献検討
- ・ 看護職のストレスとストレス対処行動についての文献検討 -看護師・保健師を比較して-
- ・ 親の養育態度が子の体型に与える影響についての文献検討
-肥満児と神経性無食欲症患者の比較-

(指導教員 吉井初美)

- ・ フレドリック・シュレーダー=ゾンネンシュターンの体験 -知的障害者の心理-
- ・ 精神障害者の職場でのスティグマ体験

(指導教員 光永憲香)

- ・ 気分障害の患者の退院支援に関する文献的考察
-患者・家族に対する支援と今後の展望について-
- ・ 統合失調症を有する患者の退院促進と地域定着支援に関する文献的考察
- ・ 摂食障害を有する患者の看護に関する文献検討
—国内における看護の現状と課題について—
- ・ 精神疾患を有する患者の睡眠問題に対するアロマセラピーの効果
—文献的考察より補完代替医療としての有効性を考える—

➔ 周産期看護学分野

(指導教員 佐藤喜根子)

- ・ 東日本大震災 1～3 年後の宮城県の周産期医療従事者の心身の健康状態
 - ・ A 病院における産後 1 か月目の母親のメンタルヘルスの現状
 - ・ 新型出生前診断に対する大学生の認識と意識調査
 - ・ 東日本大震災時妊婦だった女性の精神的健康状態-震災 3 年を経て-
 - ・ 東日本大震災時、妊婦だった女性の夫の心身の健康状態 -震災 3 年を経て-
- (指導教員 小山田信子)
- ・ 助産所分娩選択者の出産に対する考えや行動の特徴
-出産に対する主体性を高める要因の検討-

➔ ウィメンズヘルス看護学分野

(指導教員 吉沢豊子)

- ・ 乳がん・リンパ浮腫合併乳がん患者の Body Image に関する研究の分析
 - ・ インターネットにおける健康リテラシー
-骨盤のゆがみ・冷え症・月経痛の関連を例にして-
 - ・ 過去 10 年における父親の育児参加・協力に関する研究の分析
- (指導教員 跡上富美)
- ・ 中高年世代の夫婦関係評価尺度の分析
- (指導教員 中村康香)
- ・ 「親になること」とはどのようなことか? -妊娠期に焦点を当てた文献検討より-
 - ・ (論文題目非公開)

◎ 医学系研究科他専攻分野

➔ 行動医学分野

(指導教員 福土審)

- ・ ポジティブ感情による慢性疼痛の軽減効果
-システムティックレビューとメタアナリシスによる検討-

➔ 運動学分野

(指導教員 永富良一)

- ・ 筋細胞内に乳酸を貯留し続けることによる細胞の変化
- ・ 運動継続の実際と継続支援のための効果的な指導についての研究
-運動療法を指示されている 2 型糖尿病患者に対して-